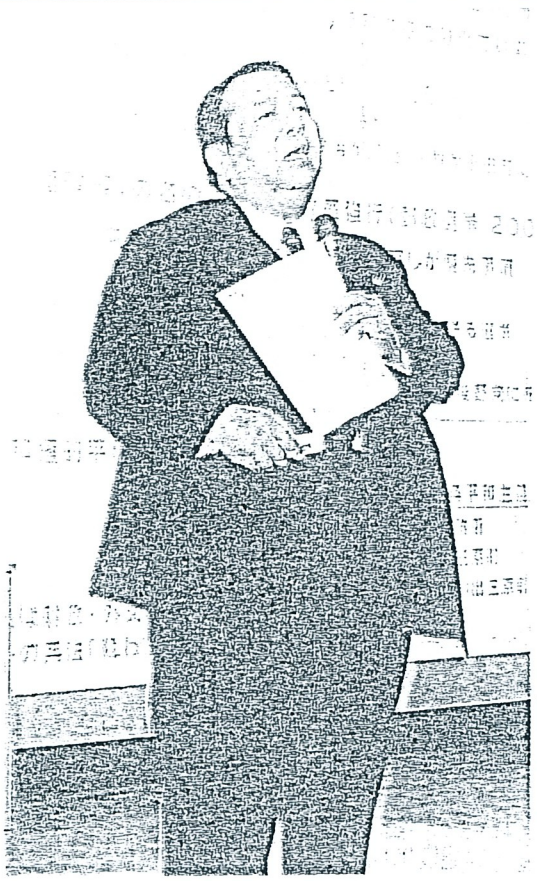
集団的自衛権を問題視

自民 村上氏 敵減らす外交訴え



政治資金パーティーで集団的自衛権行使容認をめぐる動きを批判した村上誠一郎氏＝20日、東京都港区

自民党の村上誠一郎氏（衆院愛媛2区）は20日夜、東京都内のホテルで開いた政治資金パーティーで、集団的自衛権行使容認や容認に関する与党協議を「一政治家同士が集まって決められる問題ではない」とあらためて批判した。

村上氏は「集団的自衛権は同盟国が攻められたときに戦争をするということ。議論をしている人たちは本当に覚悟しているのか」と問題視。安倍晋三首相の靖国神社参拝などに触れ、安全保障のあるべき姿として「敵を減らす外交戦略が必要だ」と訴えた。

増え続ける国や地方自治体の借金などを問題視し「今しなければならないのは財政、外交、教育の再建だ」と主張。党の現在の状況を「選挙（での公認）やポストを（執行部に）握られている」とし「昔は自由に発言や意見交換ができた。こんなのではなかった」と嘆いた。

（松本尚也）